

名古屋大学大学院多元数理科学研究科
平成25年度教育・研究活動
年次報告書

平成26年8月

名古屋大学大学院多元数理科学研究科

(5) 授業時間割

平成25年度前期時間割（数理学科）

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1	数学展望Ⅰ（川平）			
	2	数学演習Ⅰ （松本詔・教務助教4名）			数理物理学Ⅰ（栗田）
	3			解析学要論Ⅰ（木村）	数理科学展望Ⅲ（金銅・大沢・林(正)）
	4				
火	1			解析学要論Ⅱ（菱田）	幾何学統論（川村）
	2				
	3		数学演習Ⅲ・Ⅳ		解析学Ⅲ（杉本）
	4		（森山・長尾・高津）		確率論Ⅰ（林(正)）
水	1		現代数学基礎CⅠ（南）	代数学要論Ⅰ（宇沢）	解析学統論（津川）
	2				
	3				
	4				
木	1		現代数学基礎BⅠ（伊山）	幾何学要論Ⅰ（小林）	代数学統論（行者）
	2				
	3		複素関数論（山上） ※全学教育科目	数学演習Ⅶ・Ⅷ	代数学Ⅰ（伊藤）
	4			（伊師・笹平）	幾何学Ⅰ（内藤）
金	1			数学演習Ⅸ・Ⅹ	数理解析・計算機数学Ⅱ（ガリグ）
	2			（林(孝)・笹原）	
	3		現代数学基礎AⅠ（中西）		数理解析・計算機数学特別講義Ⅰ
	4				（織田・中村・日比）

平成25年度後期時間割 (数理学科)

		1年生	2年生	3年生	4年生
月	1			数理科学展望Ⅰ	
	2			(中西・大平・川村)	幾何学Ⅱ (ヘッセルホルト)
	3			現代数学研究 (納谷)	数理物理学Ⅱ (永尾)
	4				
火	1			代数学要論Ⅱ (齊藤)	
	2				確率論Ⅱ (吉田)
	3		現代数学基礎 AⅡ (糸)		
	4				数理科学展望Ⅳ (ヘッセルホルト・藤江・ガリグ)
水	1		現代数学基礎 CⅡ (津川)	数理解析・計算機数学Ⅰ	数理解析・計算機数学Ⅲ (内藤)
	2	数学演習Ⅱ (浜中・教務助教4名)		(久保・笹原)	
	3				
	4				
木	1		計算数学基礎	幾何学要論Ⅱ (森吉)	
	2		(宇沢・高津)		代数学Ⅱ (ガイサ)
	3	数学展望Ⅱ (杉本)	現代数学基礎 BⅡ (金銅)		
	4				
金	1		数学演習Ⅴ・Ⅵ	解析学要論Ⅲ (山上)	
	2		(高橋・佐藤・馬)		解析学Ⅳ (青本)
	3		現代数学基礎 CⅢ (川平)		数理解析・計算機数学特別講義Ⅱ
	4				(岸本・田中・中村)

(4) 授業時間割

平成25年度前期時間割 (大学院)

		4年生と共通	大学院のみ
月	1		
	2	数理物理学概論Ⅰ (粟田)	
	3	数理科学展望Ⅰ (金銅・大沢・林(正))	
	4		
火	1	幾何学概論Ⅰ (川村)	
	2		数論特論Ⅰ (松本(耕))
	3	解析学概論Ⅱ (杉本)	
	4	確率論概論Ⅰ (林(正))	
水	1	解析学概論Ⅰ (津川)	
	2		表現論特論Ⅰ (ヘルシェン)
	3		予備テスト基礎演習 (加藤・橋本)
	4		
木	1	代数学概論Ⅰ (行者)	
	2		解析学特論Ⅰ (青本)
	3	代数学概論Ⅴ (伊藤)	
	4	幾何学概論Ⅴ (内藤)	
金	1	数理解析・計算機数学概論Ⅱ (ガリグ)	
	2		幾何学特論Ⅰ (森吉)
	3	社会数理概論Ⅰ	
	4	(織田・中村・日比)	

平成25年度後期時間割（大学院）

	4年生と共通	大学院のみ	
月	1		
	2	幾何学概論 II（ヘッセルホルト）	
	3	数理物理学概論 II（永尾）	
	4		
火	1		
	2	確率論概論 II（吉田）	
	3	偏微分方程式特論I（菱田）	
	4	数理科学展望 II （ヘッセルホルト・藤江・ガリグ）	
水	1	数理解析・計算機数学概論III（内藤）	
	2		
	3		
	4		
木	1		
	2	代数学概論 II（ガイサ）	複素幾何学特論I（大沢）
	3		
	4		
金	1		
	2	解析学概論 VI（青本）	代数学特論II（デモネ）
	3	社会数理概論 II	
	4	（岸本・田中・中村）	

VI-C 就職・同窓会委員会

現在の多元数理科学研究科、数理学科における就職関連の行事は、12月に開催される企業セミナーとミニ同窓会、そして6月に開催される「働くこと&インターンシップセミナー・数学教室ミニ同窓会」があり、OB・OG多数にご参加いただく当研究科独自の行事である。以前には2月に開催されていた企業セミナーを12月に開催されるようになった経緯として、19年度3月に委員長が同窓の先輩がたと懇談の機会をもち、活動方針、開催時期を決めた。その際にとくに問題になったのは、企業セミナー、ミニ同窓会への学生の出席率の低さであった。従来通り2月開催では、学生はすでにどの会社に行くか、ターゲットをしばって活動しており、また講義期間中ではないため出席率が低くなると考えられた。11月または12月開催を検討して、12月開催に変更し、その結果参加者も増えた。志望会社をしばっていない段階でいろいろな会社の説明をきき、その後の懇親会で先輩方にリラックスした状況でさまざまな質問ができるなど参加者にとっても好評である。平成23年3月15日に日本経済団体連合会より、「採用選考に関する企業の倫理憲章」が公表され、「インターネット等を通じた不特定多数向けの情報発信以外の広報活動については、卒業・終了学年前年の12月1日以降に開始する」と明記されているので、企業セミナー等は12月1日以降開催する、という方針は堅持していく。25年度も12月7日に開催した。しかしながら、学生の参加者が減少気味であり、ミニ同窓会は学生が就職活動にはいる前に、実際に社会で活躍されている先輩方と話しをすることにより、視野を広げるために重要な役割を果たしており、参加した学生からの評価が高いだけに残念である。学生に対するキャリア教育の一環として、6月に「働くこと&インターンシップセミナー・数学教室ミニ同窓会」を22年度より開催しているが、学生達にキャリアをどのように考え、自分にあった進路を実際に自分たちの前を歩んでいる諸先輩方の体験を聞き、いろいろな質問を投げかける事によって探ることの重要性を強調する必要があるように思われる。

数学の博士の学生の会社への就職は米国、ヨーロッパ、中国では一般的であるが、日本ではまだめずらしい。会社とのインターンシップなどは24年度も検討課題であるが、22年度に2名が就職し、活躍しているのは大変喜ばしい。このように博士の採用に積極的な会社も増えているので数年したら博士の学生の就職の状況は劇的に変化する可能性がある。リーマンショック後も、修士卒が欲しいという会社が多い。多元数理科学研究科として、修士、博士といった高度な専門性を持つ社会で活躍できる人材を養成することは急務であると考えられる。

同窓生の尽力による企業との連携による講義も好評である。会社説明会、ミニ同窓会等同窓生の方々のご協力に深く感謝する次第である。

企業との連携による講義 (平成25年度)

統計・情報数理概論 I

前期 原 重昭 日本アクチュアリー会 正会員

統計・情報数理概論 II

前期 坪野 剛司 一般社団法人 年金総合研究所 理事長
久保 知行 株式会社 久保総合研究所 年金数理人
渡部 善平 株式会社 IICパートナーズ プリンシパル PD&IP担当部長

社会数理概論 I/II

前期 織田 一彰 スローガン株式会社・取締役
中村 俊之 株式会社日立製作所デザイン本部・専門デザイナー
日比 政博 名古屋工業大学大学院工学研究科・つくり領域 特任研究員

後期 岸本 敏道 株式会社 日立製作所 情報・通信システム社
ITプラットフォーム事業本部 開発統括本部
ストレージ開発本部 ストレージ第2設計部・主任技師
田中 祐一 トヨタファイナンス株式会社 総合企画部経営企画G・主幹
中村 俊之 株式会社日立製作所デザイン本部・専門デザイナー

応用数理特別講義 I/II

前期 松井 一 豊田工業大学・准教授
柴田 隆文 株式会社NTTドコモ東海支社 法人営業部・部長
松崎 雅人 東邦瓦斯株式会社・顧問
佐々木 俊介 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
フィナンシャルエンジニアリング部 クオオンツ課・部長代理
山田 博司 NTTセキュアプラットフォーム研究所
ネットワークセキュリティプロジェクト・主幹研究員

後期 森 健策 名古屋大学大学院情報科学研究科・教授
渡部 善平 株式会社 IICパートナーズ・プリンシパル PD&IP担当部長
佐藤 淳 名古屋工業大学大学院情報工学専攻・教授
長江 敬 日本銀行名古屋支店・営業課長
丹羽 智彦 トヨタ自動車株式会社 第1シャシー開発部
シャシー設計技術開発室・主幹